

うしみさらダボール子育て情報



「規範意識と集団活動」

令和6年5月22日号

板橋富士見幼稚園



想像力から創造されるモノ

毎朝、教師は自分のクラスの環境を整え、子ども達の登園を待っています。そして朝会では、園長先生から今日の保育で大切にしていきたい取り組みが話されています。

ある朝会で、5歳児の長方形の積み木に丁寧に画用紙が巻かれ、そこに鉛筆で電車の窓とドアが細かく描かれて置いてあったものを手にして、次のような話をしました。「子どもが集団活動に参加していると、次第に良いことや悪いことを知り、やがて規範化して行くのですね。この製作者からは“積み木に電車の絵を直接描いてしまうことは、皆で使うものだからしてはいけない”という規範意識の表れが見られますね。もし3歳児であれば、きっとイメージした電車を直接積み木に描いたことでしょう。5歳児ともなると規範意識が育ちあることが読み解けます。」

子どもが遊ぶ過程では、常に想像が広がっており、イメージしたものを形にして表し、形にしたもので遊びを広げていきます。集団で遊ぶ際には、そこから更に仲間と互いのイメージを共有していき、遊びを発展させていきます。共有できるようになるということは、互いに試行錯誤し、妥協したり協調したりする行為を経験してきたということです。そのような積み重ねで、個々に初めて「譲り合い」の精神と、集団で楽しく遊ぶために必要な「規範意識」が育まれます。1人で遊んでいるだけでは、この育ちはありません。

先ほどの事例のように、5歳児では集団で共有物を使っている意識があり、規範意識が芽生えている姿は、集団遊びの重要性を示しています。そして人間形成にどれほど大切であるかが分かります。

遊びは、子どもたちの物語です。この物語から、人との関係が生まれ、人格が形成されていくのです。



【イチゴの収穫祭に向けて】
来週の収穫祭に向けて年長さんが
ジュースの試作をしました。イチ
ゴの数や砂糖の量を味見しながら
みんなで話し合い、美味しいジュ
ースが完成しました！

